



平成  
20  
年度

4  
月

# 学校だより

京都市立桃陽総合支援学校

あいさつ

校長 尾崎 泰敏

平成20年度がスタートいたしました。一年はお正月から始まりますが会社や学校は4月からスタートします。今年度も心構えを新たにしてお臨もうと思っております。

申し遅れました。今年度鳴滝総合支援学校から転任してきました校長の尾崎泰敏と申します。総合支援学校としては、呉竹総合支援学校や東総合支援学校、鳴滝総合支援学校で仕事をいたしました。それぞれの学校で多くの子どもたちや保護者の方と出会い、多くのことを学びました。その経験を桃陽総合支援学校でも活かしたいと考えています。

桃陽総合支援学校は、病氣の子どもたちが通う学校であります。病氣というのは誰もが罹る可能性のあるものです。そういう意味で全ての人たちが自分の事として考える必要があります。病氣に罹るといふことは災いです。一〇〇%避けることは誰にもできません。治るものは治す。治りにくいものは上手に病氣をコントロールしていく事が大切です。これには、お医者様の言われる事をよく聴いてお医者様の指示をしっかり守ることが大事だと思えます。

さて病氣のもたらす最大の害は、人の意欲を削ぐところにあります。「病氣だからできない」「なぜ私だけこんな病氣に…」

「頑張っても病氣だからしかなかったが」

意欲がなくなると病氣の回復も遅くなりますし、学力も下がってしまいます。これが病氣がもたら

す二次障害です。

ではこの二次障害を起こさないためにはどのようなすればよいのでしょうか。一つは病氣のとならぬ方です。病氣を一つ一つのチャンスと捉えたらどうでしょうか。病氣の時は大変感性が鋭くなっています。人の考え方や感じ方、いのちの大切さや生命の不思議を学ぶにはいい機会ではないでしょうか。また、病氣、入院の間はやれることが制限されています。その反面物事に集中して取り組めるということもできます。

いろいろな分野で活躍している人の中には病氣療養中の間に自分の進むべき道を見つけ、成功を収めたという例は少なくありません。桃陽総合支援学校に通う子どもたちが前向きな心と体の持ち主になってくれ

# 平成20年度京都市立桃陽総合支援学校「経営方針」

## 1. 経営理念

当校に在籍する病気療養中の児童生徒が、自分の良さを伸ばしつつ主体的に社会参加する力を育むため、柔軟で多様な教育課程を編成する。教育課程の編成は、入院治療を受けつつ学んでいる当校の児童生徒が、元気回復して居住地の学校に戻るために、また、地域社会で豊かに生活するために、「新たな学習の場や生活の場への円滑な移行」の観点を重視し、個のニーズに対応する「個別の包括支援プラン」に基づいて行うものとする。

また、病弱虚弱、不登校、LD等特別な支援を要する児童生徒の教育に関する保護者や学校の相談に応じかつ支援する「総合育成支援教育相談センター」としての機能のいっそうの充実を図り、社会における当校の役割を担っていくものとする。

これらの取組は、障害種別や、さらに障害の有無を超えて、すべての子どもが自分の持てる力を存分に発揮しつつ社会で共に豊かに生きる「ノーマライゼーション社会」の実現を目指し、「総合支援学校」としての当校の役割と機能を高めていくことを目指すものである。

そのためには、子どもをめぐる医療・福祉・前籍校・進路先等、関係諸機関との連携が必至であり、子どもの「今」と「将来」を見据えた支援ネットワークの構築をさらに強固なものにしていかなければならない。当校の教育活動のすべては、年間を通して様々な時期に多様な病気によって入学する子どものために、かつ、病気を発症して支援を求めている子どものために、資することにある。本校・訪問教育・4分教室、小学部・中学部の枠を超えて指導体制を整え、専門性向上を図り、「桃陽一丸」となって「病気と向き合う子ども」のために取り組むことを経営理念とする。

## 2. 学校教育目標

「からだ」「こころ」「いのち」を大切にして前向きに生きる意欲を育て、生活力の向上を図り、豊かな社会参加に向かう創造的で個性豊かな人間性の育成を目指す。

### めざす子ども像

- 「願い」を大切にする子
- 「からだ」を大切にする子
- すすんで学ぶ子
- 「思いやり」を感じ合う子



## 私たちは、新しく桃陽のメンバーとして加わりました。よろしくお願いします。

岡村 美江(おかむら よしえ)

「わーっ、きれい！」と、花吹雪を見ていた女の子が言いました。最初に出会った桃陽の子どもです。「わーっ、きれい！」と感じ、「わーっ、きれい！」と言葉にするのはとても大切なことだと思います。「わーっ、きれい！」と感じられる心は元気な心だからです。「わーっ、きれい！」と言葉にすると周りの人の心も元気になるからです。桃陽の子ども達と一緒に、たくさんの「わーっ、きれい！」に出会いたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

徳岡 明美 (とくおか あけみ)

京都教育大学 附属桃山小学校から転任してまいりました 徳岡 明美です。わたしは、犬や自然が大好きです。この桃陽総合支援学校は、まなびの森を始め、桜が満開というように自然がいっぱいで、命が躍動しているのを感じます。これから、楽しいことをたくさんして、豊かに生きていく喜びを子どもたちとともに考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

星山 千秋(ほしやま ちあき)

4月16日現在、桃陽総合支援学校には、まだ、桜が見られます。ちらほら落ちる花びらで通路が桃色に…。ふと横を見ると学びの森では木々が青々と茂っています。「先生おはよう。」「さようなら。」の子どもたちの声と笑顔が風景に溶け込んでいます。柔らかな空気に心がほっとします。この心和む場で、子どもたちと、楽しい思い出をたくさんたくさん作りたいたいと思っています。よろしくお願いします。

石原 紀子 (いしはら のりこ)

今年度、桃陽総合支援学校の本校と4分校で音楽を担当させていただきます。私は奈良教育大学の音楽文化専修コースで声楽を勉強しました。大学ではオペラを監督したり、創作ミュージカルを演出したりしました。桃陽では音楽の授業の中でも合唱を中心にしたいと思っています。もちろん本校生に人気の器楽もやる予定ですが、本校でも分校でもみんなで歌える合唱曲が1曲でもあればいいなと思っています。1年間、よろしくお願いします。

中村 拓 (なかむら たく)

はじめまして、スクールソーシャルワーカーとして配属されました、中村拓と申します。教育現場に、社会福祉の人間が入るようになって日が浅いため、ソーシャルワークという言葉が耳にされたことがない方もいらっしゃるかもしれません。まず私は、スクールソーシャルワーカーとは何者で、何ができるのかについて、皆様にご理解いただければと思っています。1年間の特別非常勤講師ではありますが、一生懸命動いていきたいと考えております。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

門 道子 (かど みちこ)

ソーシャルワーカーとして赴任しました。門 道子と申します。桃陽の素晴らしい桜と子ども達の笑顔に出会うことができ、うれしく思います。これからの1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

月 日	曜	本校・訪問教育	桃陽病院	国立・京大・府医大・二赤
4月21日	月	健康相談日		
22	火	全国学力調査・フッ化物洗口		二赤集会
23	水	児童生徒会運営委員会・環境整備		課外学習
24	木			
25	金	たけのこ掘り・環境整備		
26	土		外泊日	
27	日		↓	
28	月	健康相談日・フッ化物洗口		
29	火	昭和の日	外出日	
30	水	運動会打ち合わせ⑥		課外学習
5月1日	木	家庭訪問月間		国立集会
2	金			
3	土	憲法記念日	外泊日	
4	日	みどりの日	↓	
5	月	こどもの日	外泊日	
6	火	振り替え休日	↓	
7	水	児童生徒会運営委員会・フッ化物洗口・運動会全体練習		課外学習
8	木	夜間学習開校式		
9	金			
10	土	みどりの会活動日	外泊日	
11	日		↓	
12	月	保健週間・健康相談日・夜間学習		京大集会
13	火	フッ化物洗口・運動会全体練習		府医大集会
14	水	児童生徒会運営委員会		課外学習
15	木	運動会予行・夜間学習		
16	金	運動会準備		
17	土	運動会・PTA 役員会・茶話会	3時外泊	
18	日		↓	
19	月	代休日(本校)	↓	
20	火	フッ化物洗口		
21	水	運動会予備日・児童生徒会運営委員会		課外学習

